

東証マザーズ 3623

ビルングシステム株式会社

2011年12月期第2四半期決算説明資料

2011年8月23日
代表取締役社長 江田敏彦

1	会社概要				
	会社概要	……	P. 3		
2	事業概要				
	2. 1 MCMプラットフォームとは	……	P. 5		
	2. 2 基本サービスの内容	……	P. 6		
	2. 3 当社の狙うポジション1/2	……	P. 7		
	2. 3 当社の狙うポジション2/2	……	P. 8		
	2. 4 当社の事業コンセプト	……	P. 9		
	2. 5 対象市場の規模	……	P.10		
	2. 6 決済アウトソーシングの概要	……	P.11		
	2. 7 派生事業の概要	……	P.12		
3	2011年12月期 中間決算概要				
	3. 1 2011年12月期第2四半期決算総括	……	P.14		
	3. 2 主要トピックス	……	P.15		
	3. 3 損益計算書の概要	……	P.16		
	3. 4 業績の推移	……	P.17		
	3. 5 売上構造	……	P.18		
	3. 6 業務受託月別売上推移	……	P.19		
	3. 7 サービス別売上推移	……	P.20		
	3. 8 収益構造	……	P.21		
	3. 9 コスト構造	……	P.22		
	3.10 販売管理費内訳	……	P.23		
	3.11 貸借対照表の概要	……	P.24		
	3.12 キャッシュ・フロー計算書の概要	……	P.25		
4	2011年12月期計画				
	4. 1 2011年12月期 第3Q～4Qのポイント	……	P.27		
	4. 2 2011年12月期 業績見通	……	P.28		
5	今後の成長戦略				
	5. 1 新規ビジネスの計画と状況	……	P.30		
	5. 2 中長期の計画(事業展開ロードマップ)	……	P.31		
	5. 3 現状の確認と今後の事業展開	……	P.32		

1 会社概要

1.1 会社概要

商号

ビルディングシステム株式会社
(Billing System Corporation)

設立

2000年6月

資本金

1,154百万円
(2011年6月末日現在)

事業内容

自社決済プラットフォームを基盤とした
決済業務支援サービスの提供

免許

貸金業務取扱主任者

主要役員

代表取締役 江田 敏彦 (CEO)
取締役 住原 智彦 (CFO)管理本部長兼務
取締役 金山佳正 (CMO)営業本部長兼務
取締役 高松 広明 (CTO)システム本部長兼務

監査法人

有限責任監査法人トーマツ

売上推移

(百万円)

年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011/中間
	628	765	989	1,248	682

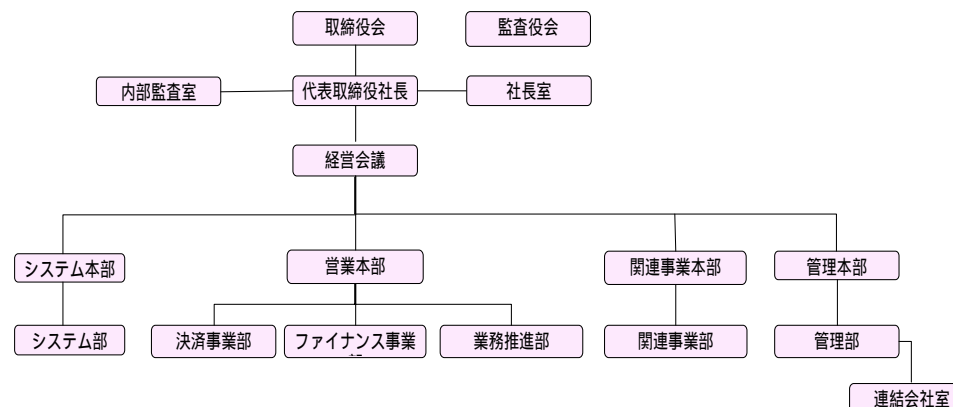
主要株主の状況(上位10名)

(2011年6月30日現在)

	株主名	所有株数	10年12月比	持株比率
1	江田 敏彦	1,470	405	9.48
2	NTTデータ	1,100	0	7.09
3	窪小谷 隆	821	0	5.29
4	ソフィアホールディングス	728	728	4.69
5	キャノンITソリューションズ	525	0	3.38
6	大塚商会	500	0	3.22
7	ビルディングシステム	475	475	3.06
8	住原 智彦	448	5	2.88
9	日本証券金融	424	182	2.73
10	柿久保 譲	365	12	2.35

注)ソフィアホールディングスから大量保有報告書及び変更報告書の写しの送付があり、8月2日現在で1,097株を保有しているとの報告を受けております。

組織図



2 事業概要

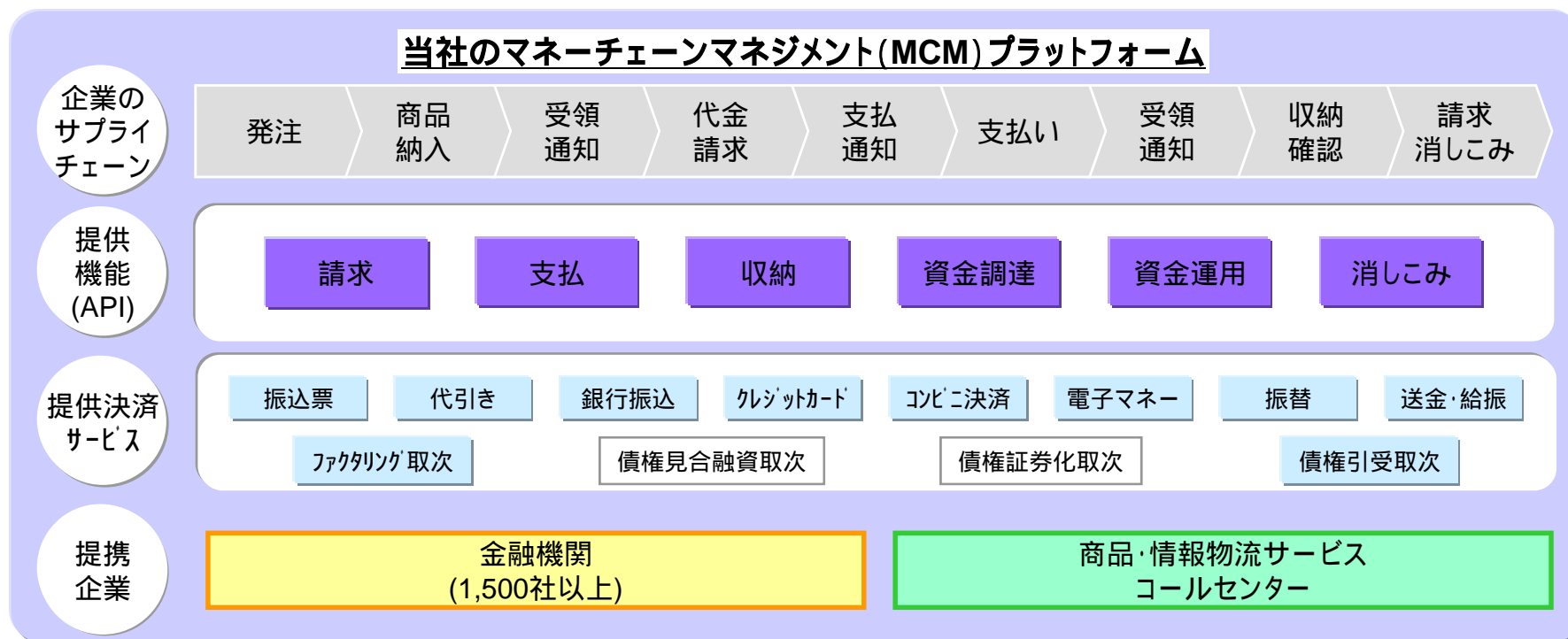
- 当社が提供するMCMプラットフォームとは、顧客の資金管理・運用を全面的に支援する決済インフラです。利用企業は低コストで金融機関のサービスを利用した資金運用・管理が可能となるうえ資金調達手段も多様化し、業務管理と財務の両面における改善が実現します。

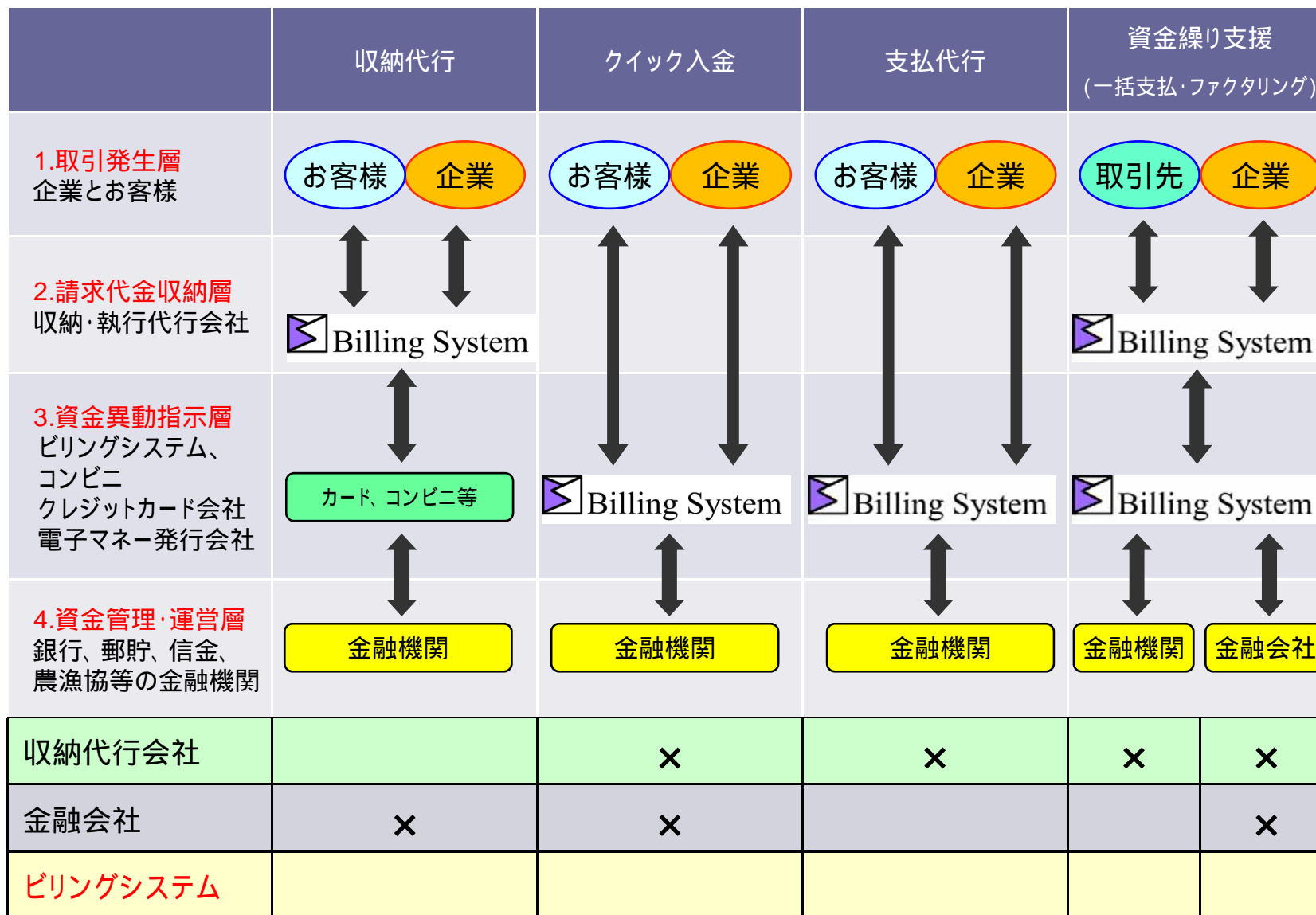
財務面での改善可能点

- 取引手数料削減、取引条件改善、債権回収期間短縮、資金調達・運用手段多様化

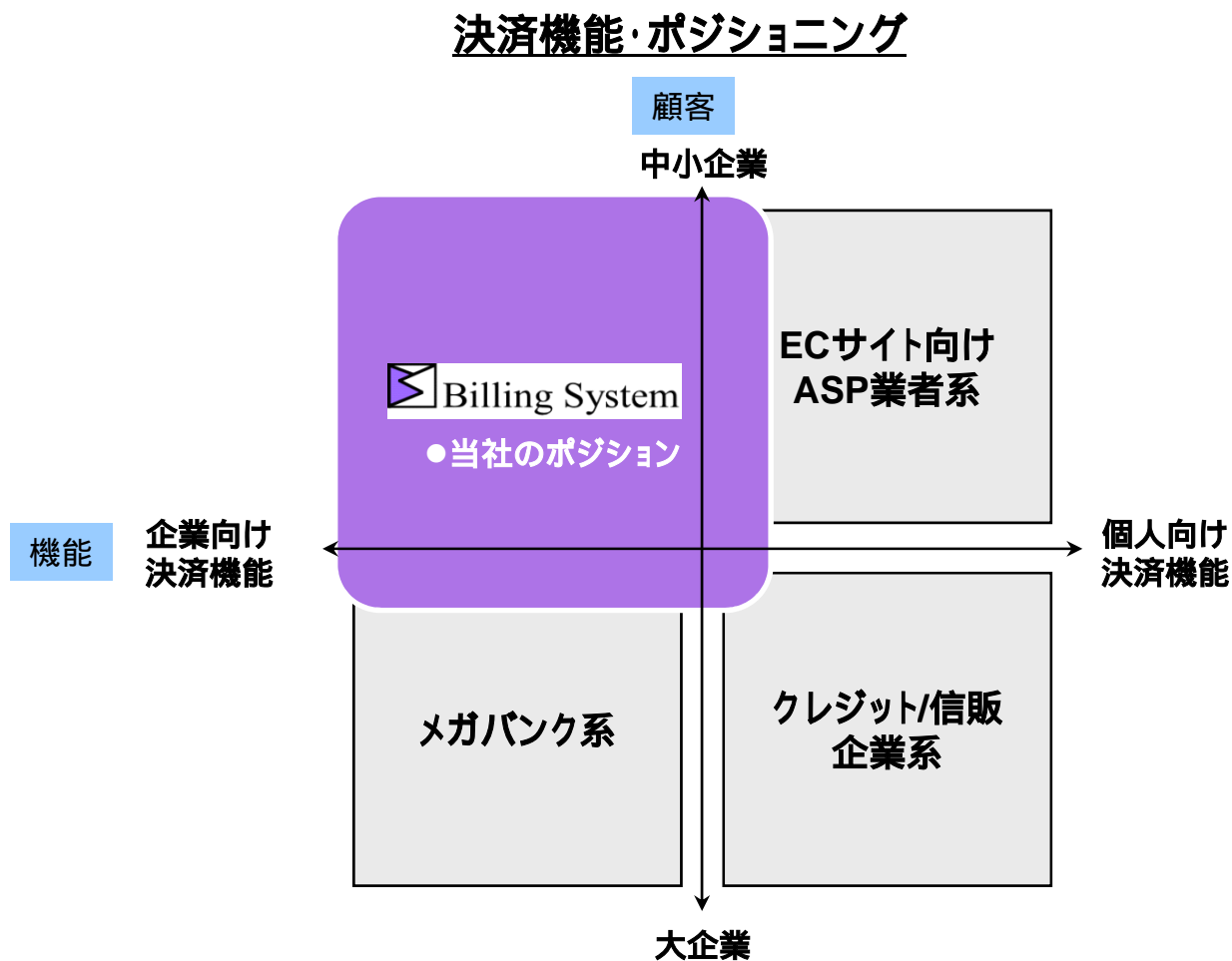
業務管理面での改善可能点

- 取引事務量削減、売掛、買掛金処理等 各種業務効率化、入金消しこみ作業削減、残高情報等の取得および更新迅速化





- 決済/収納代行サービスを提供している企業のなかで、当社は主に中小企業向けの決済機能サービスというユニークな領域をターゲットとして事業活動を展開しております。

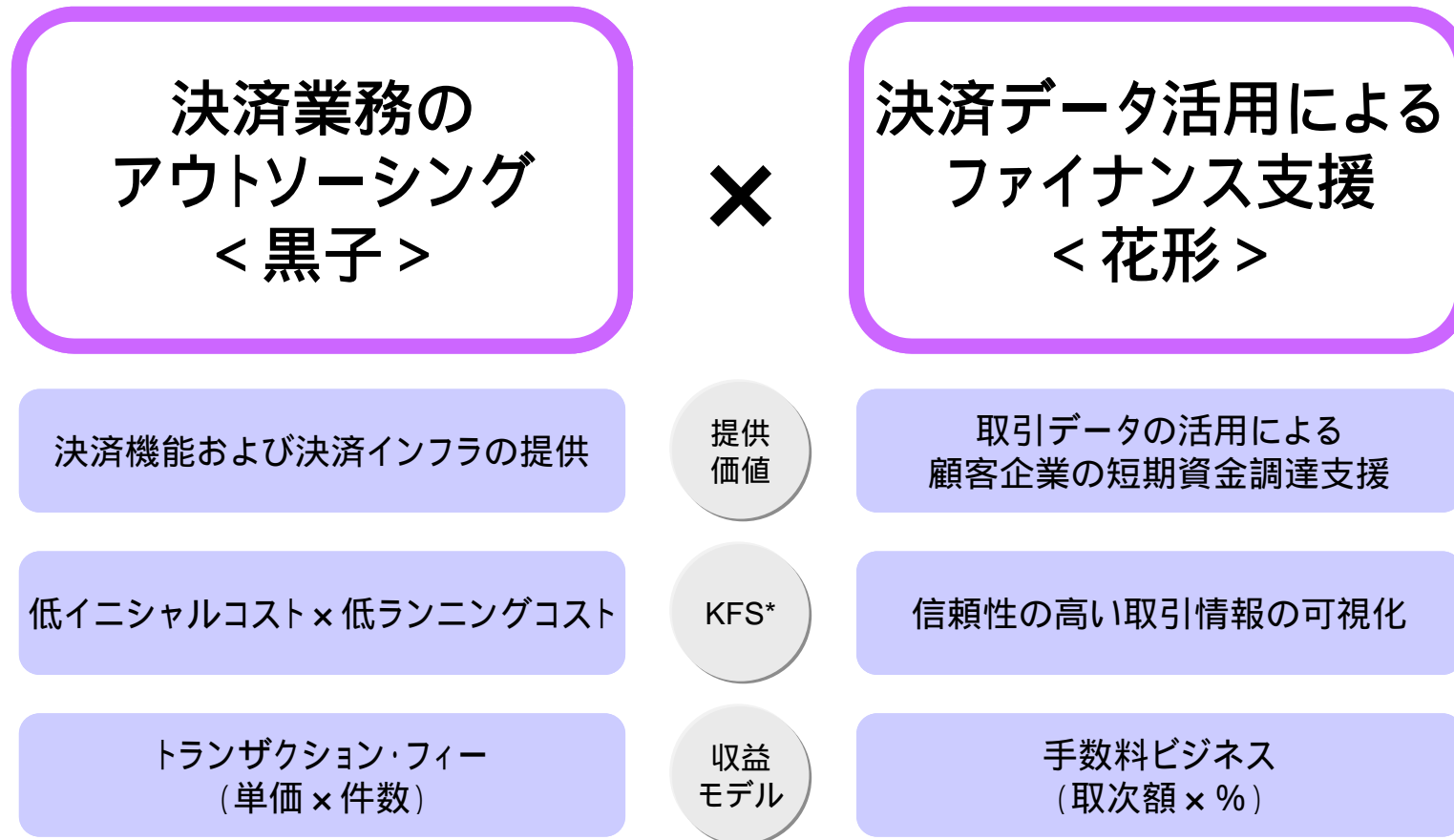


- 当社のビジネスは、顧客企業に対するBPRの提案にはじまり、決済機能代行業務、決済データを活用した各種サービスを軸に、最終的にはビジネス・プロセス・アウトソーシングまで受託可能な決済関連業務のワンストップ・サービスを提供しており、他の決済アウトソーシング企業とは一線を画したビジネスを展開しています。

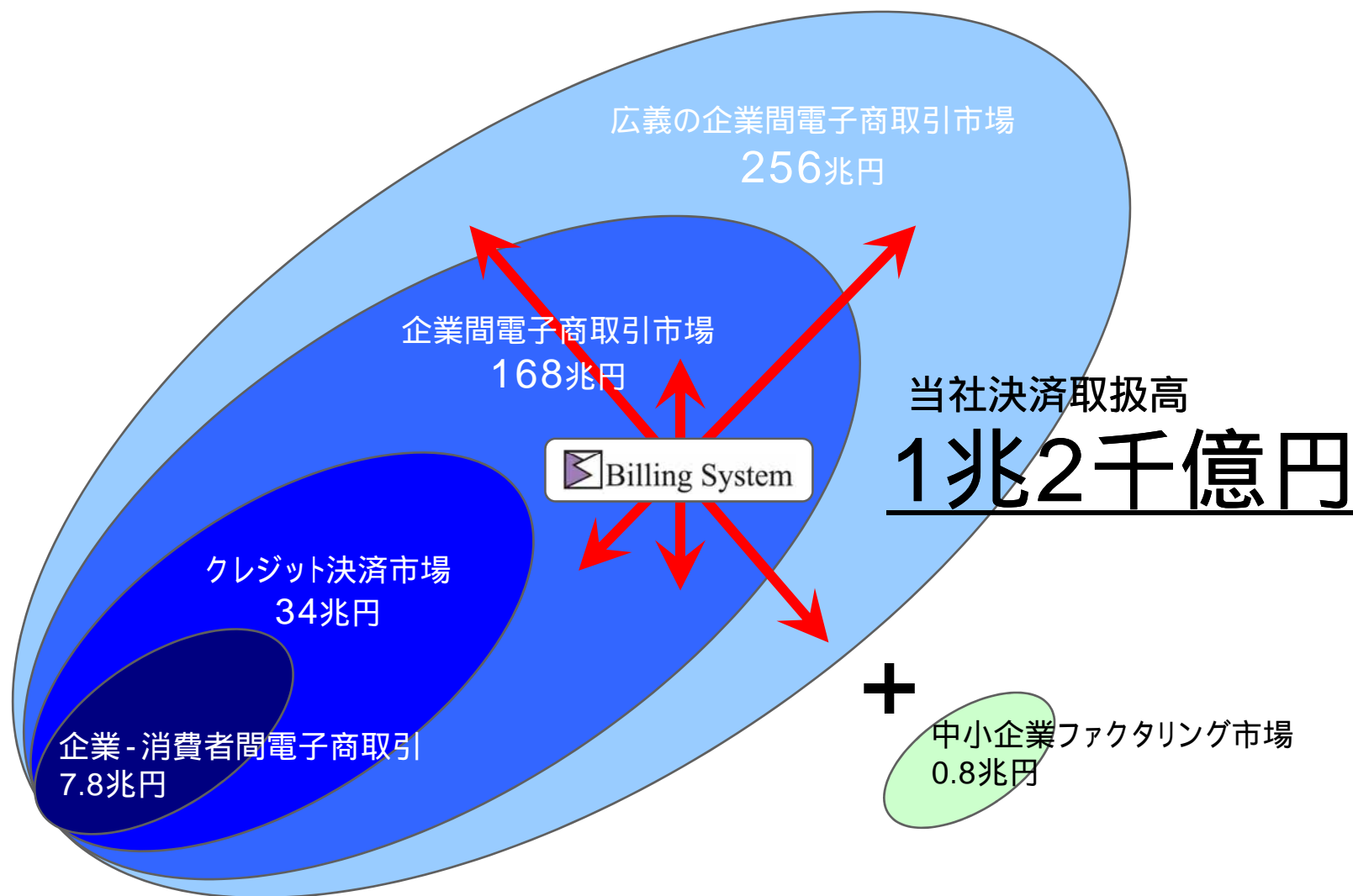
サービス・ポジショニング

サービス 競合系統	業務フロー 設計 (BPR)	決済機能 収納代行	決済データ活用			その他 (BPO等)
			ファクタ リング	排出権 取引	物販 物流	
			当社			
独立系		F社 Z社、J社、等			S社等	
銀行系		メガバンク系 地銀系 信販系				
メーカー・ システム 系		S社、T社、等 PayPal、Google等				
シェアード サービス 系						システムコンサル系、 会計事務所系

- 当社事業は、決済業務受託による収益をベースに、蓄積された決済データを分析・活用することで顧客企業のファイナンス支援(ファクタリング)から得られる手数料収入を積み上げる、「黒子と花形の掛け算」をコンセプトとしております。



(*KFS : Key Factor(s) for Success 目標達成のために注力すべきポイント(成功要因)

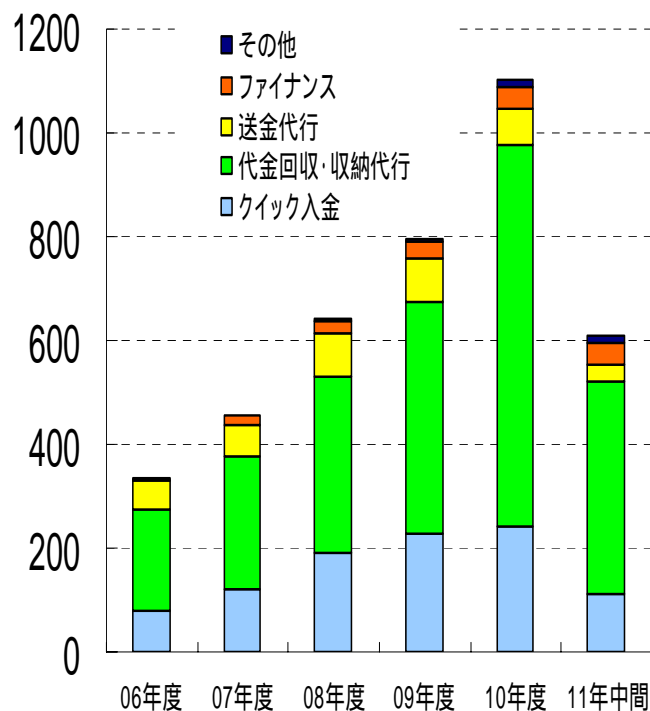


出所: 経済産業省: 「平成22年度電子商取引に関する市場調査」等から作成

- 当社の決済業務アウトソーシングは、ASPサービスの利用による導入時の低いイニシャルコストと導入後の低ランニングコストが特徴です。
- このため継続利用率が高く、顧客数、および取引件数の増加に伴い収益が伸張するビジネスモデルとなっており、下表のとおり順調に収益を積み上げております。

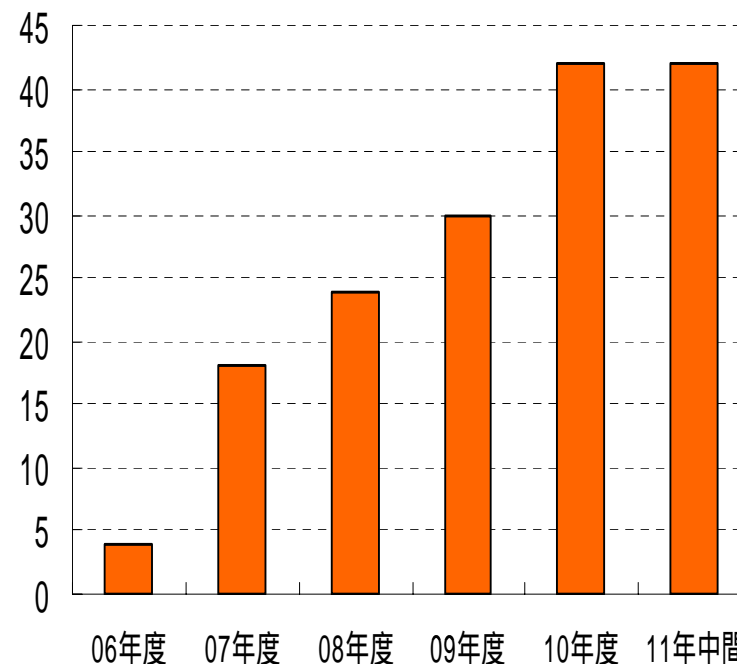
売上高
(百万円)

業務受託売上推移



参考：ファイナンス売上推移

百万円



- 顧客企業が弊社の決済インフラを利用することで蓄積される決済データは、商取引に裏打ちされた極めて正確性・信頼性の高い顧客のキャッシュフロー情報となります。
- 弊社はこの決済データをベースに、資金繰り支援をはじめ、排出権取引支援など、パートナー企業との協働により新事業を提案・事業化し、トランザクションの増大を推進します。

決済データの活用による提供サービスの事例

提供サービス	サービスの概要	顧客/パートナー
ファイナンス取次 (ファクタリング取次)	決済データをベースにキャッシュフローを可視化し、顧客企業の資金繰りを支援	大手信託銀行 金融業 人材派遣業
カーボンオフセット 事業支援	排出権調達のファイナンス枠を提供するとともに、企業顧客への請求・決済業務を代行	排出権取扱業者
省エネ事業支援	各種資源の節減によるCO2削減効果を取引データを基に分析・算出し顧客の排出権取引等を支援	大手旅行代理店
生鮮食品バリューチェーン 短縮化事業支援	食品生産者と最終顧客を直結させるバリューチェーンを構築し、取引にかかる決済業務および資金繰りを支援	漁業協同組合
中小病院事務手続支援	支払代行、患者への請求代行、および診療報酬審査請求代金精算にかかるファクタリング、ならびに省エネ関連対応の取次	中小病院

3 2011年12月期 第2四半期

売上高

682百万円

- ・業務受託売上が予算比 + 10百万円、スポット売上が予算比 + 15百万円となったため、総売上高で予算比25百万円の超過達成となった。

営業利益

103百万円

- ・予算比15百万円の超過達成。
- ・販売管理費は略予算どおり推移。

当期純利益

96百万円

- ・予算比19百万円の超過達成。
- ・連結子会社の繰越欠損金解消による税金6百万円の計上。

2011年3月 初配実施

一株あたり3,000円の配当(初配)を実施。

税務上の繰越欠損金解消後は、純利益の35%程度を目処に配当を行う予定。

2011年4月 組織変更

本部制の導入により、責任体制を明確化するとともに、中期的な成長を図り営業力強化を目指すもの。具体的には、関連事業本部の設置により、事業ドメインの拡大を図り、内部監査委員会を内部監査室に昇格し、合わせて内部管理体制の強化を狙ったもの。

2011年4月 自己株式の取得

資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行を可能とするための、所謂自社株買いの実施。

株式の総数 475株

(発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合 3.2%)

取得対価 48,720,800円

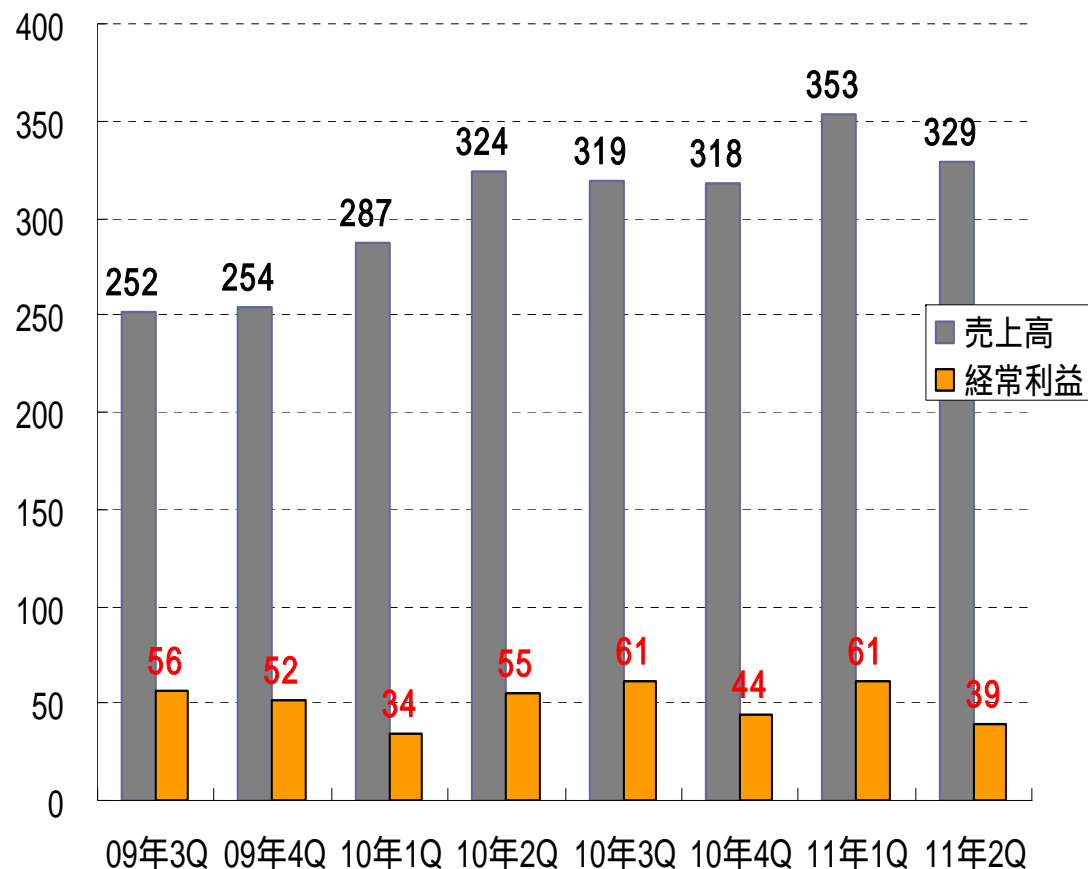
取得期間 4月1日～4月28日

3.3 損益計算書の概要

単位:千円

	2010年12月 第2四半期(累計)		2011年12月 第2四半期(累計)			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	計画比
売上高	612,491	100.0%	682,938	100.0%	11.5%	3.9%
売上総利益	255,849	41.8%	279,027	40.9%	9.1%	7.2%
営業利益	89,423	14.6%	103,393	15.1%	15.6%	17.0%
経常利益	89,151	14.6%	100,429	14.7%	12.7%	19.6%
当期純利益	77,246	12.6%	96,724	14.2%	25.2%	24.1%
EPS	4,982円70銭	-	6,315円25銭	-	26.7%	-

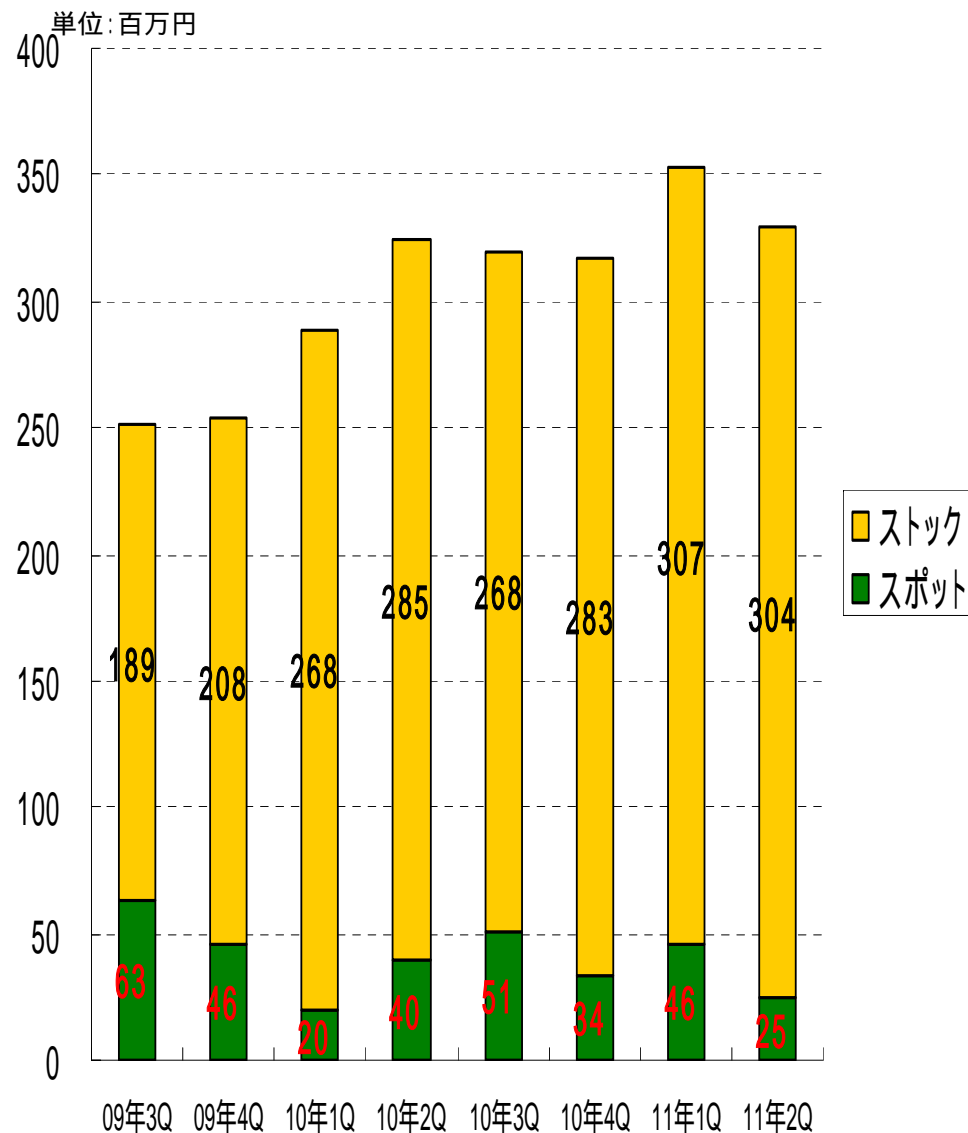
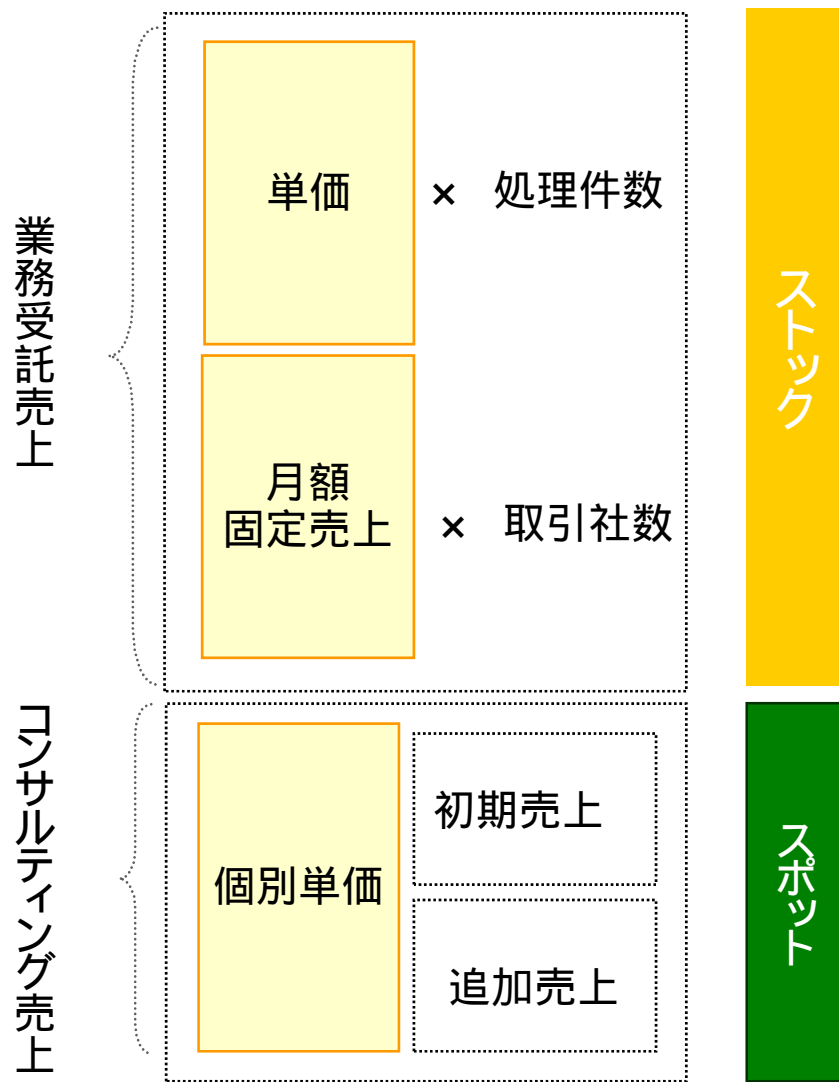
単位:百万円



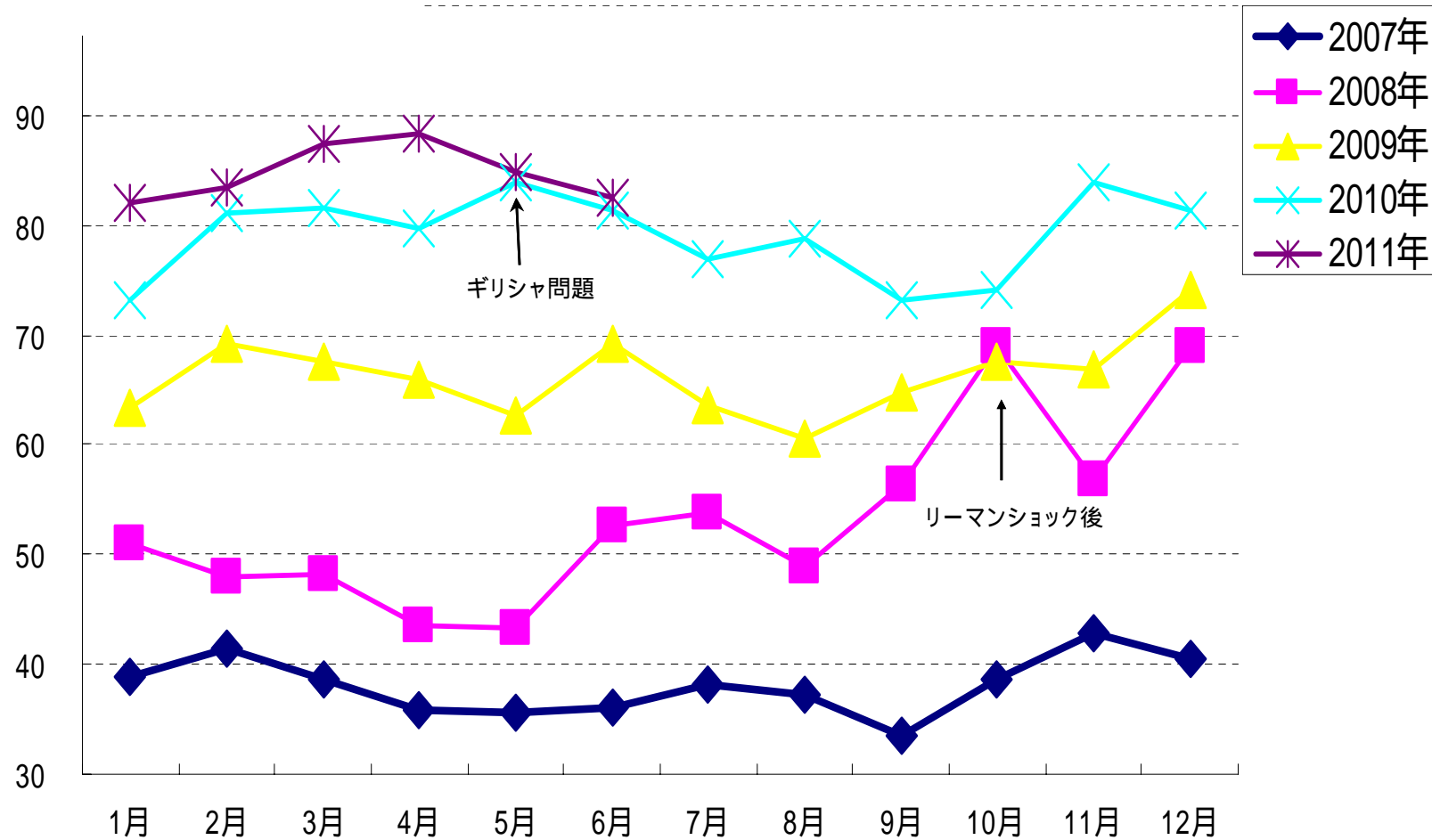
Points

- ・11年1Qは大口のスポット売上があったこと、3月に為替が大きく動いたためクイック入金が好調であったこと等により売上高、経常利益とも大きく増加。
- ・11年2Qは、クイック入金、収納代行とも略フラットに推移し、弁護士費用の増加もあり、経常利益は39百万円に留まった。

業務受託(ストック)の着実な増加



百万円(単体ベース)

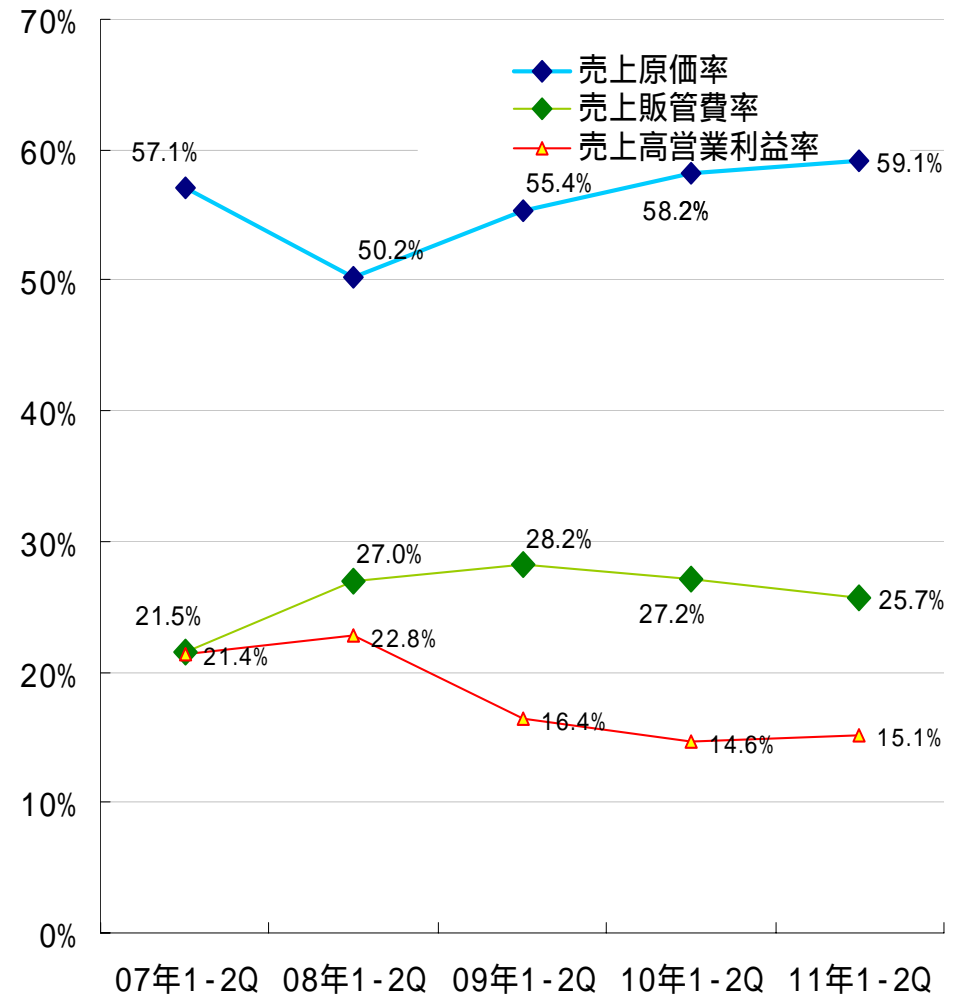
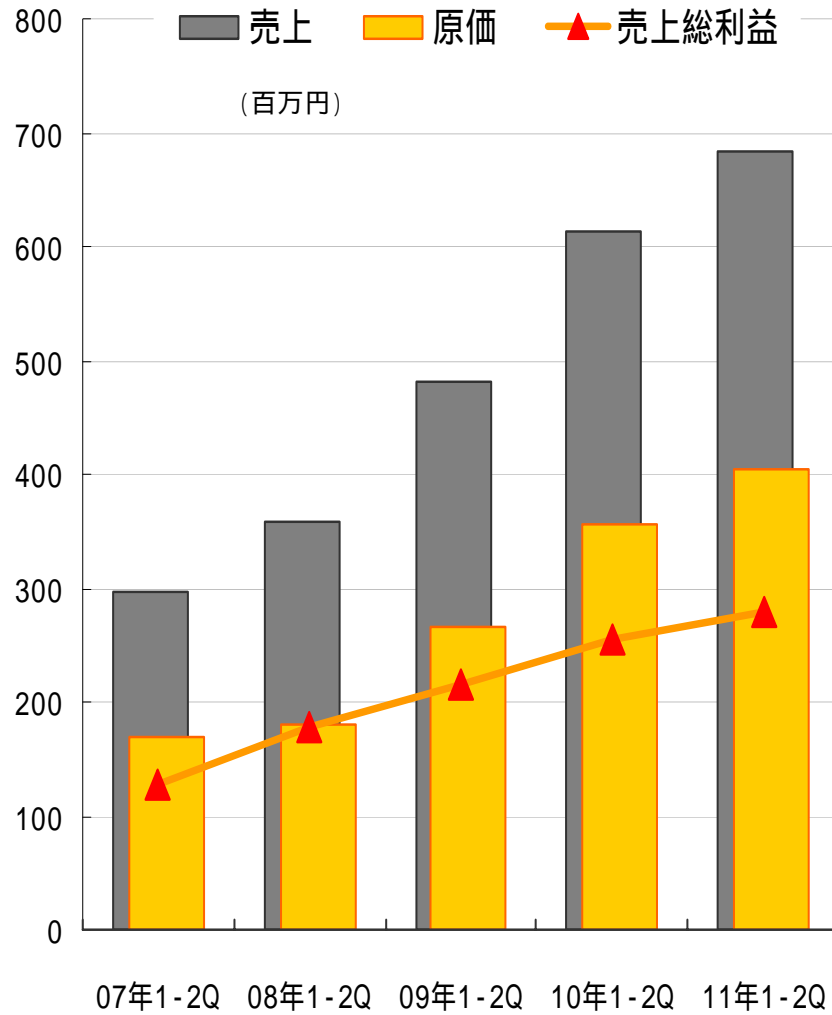


3.7 サービス別売上推移

百万円

		09年3Q	09年4Q	10年1Q	10年2Q	10年3Q	10年4Q	11年1Q	11年2Q
クイック入金	業務受託	59	59	62	69	58	53	59	54
	コンサル・スポット	11	12	7	6	3	13	6	5
	合計	70	71	69	75	61	66	65	59
代金回収・収納代行	業務受託	102	126	178	186	178	191	207	200
	コンサル・スポット	44	14	5	5	1	2	13	2
	合計	146	140	183	191	179	193	220	202
送金代行	業務受託	22	18	18	18	17	16	15	19
	コンサル・スポット	0	1	1	1	0	1	0	0
	合計	22	19	20	19	17	17	15	19
ファイナンス	業務受託	5	4	7	8	10	17	20	22
	コンサル・スポット	7	19	0	24	17	11	24	18
	合計	12	23	7	32	27	28	44	40
その他	業務受託	2	1	3	3	5	6	6	8
	コンサル・スポット	1	1	6	4	30	7	4	1
	合計	3	2	9	7	35	13	10	9
合計	業務受託	189	208	268	284	268	283	307	303
	コンサル・スポット	64	46	20	40	51	34	47	26
	合計	253	254	288	324	319	317	354	329

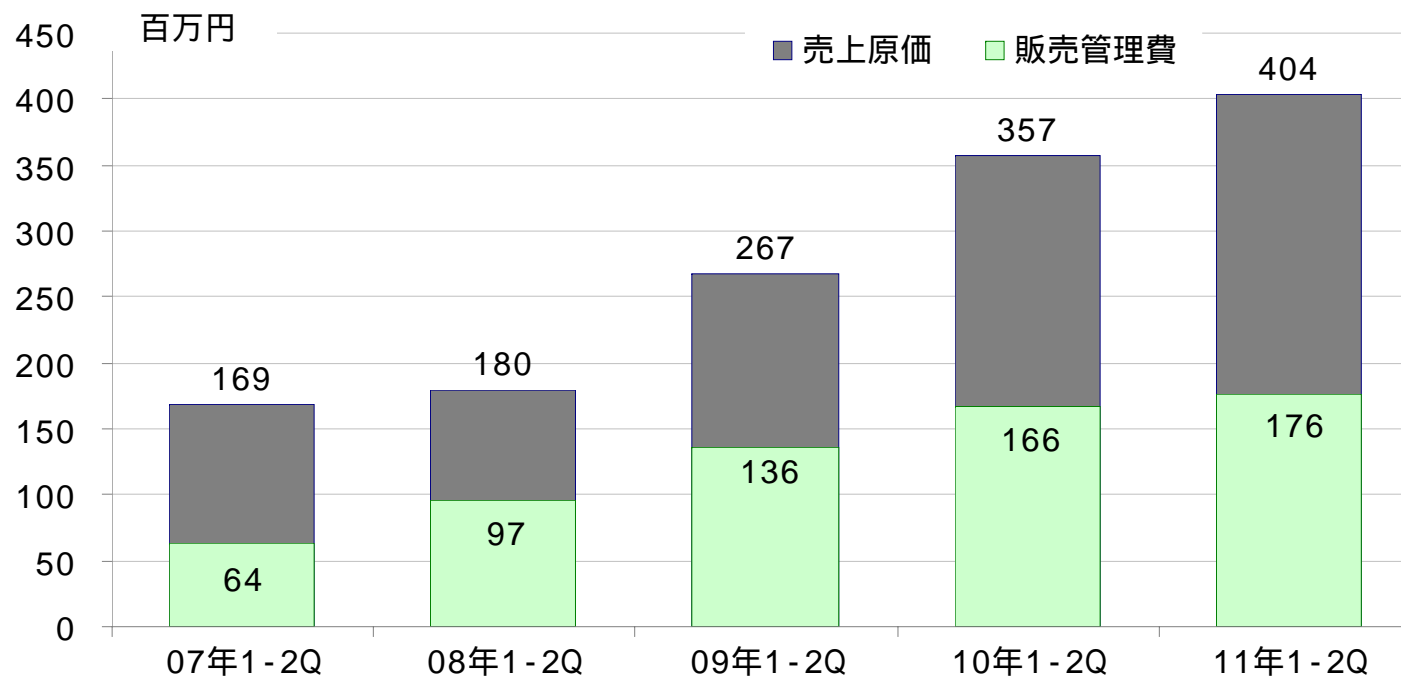
3.8 収益構造



3.9 コスト構造

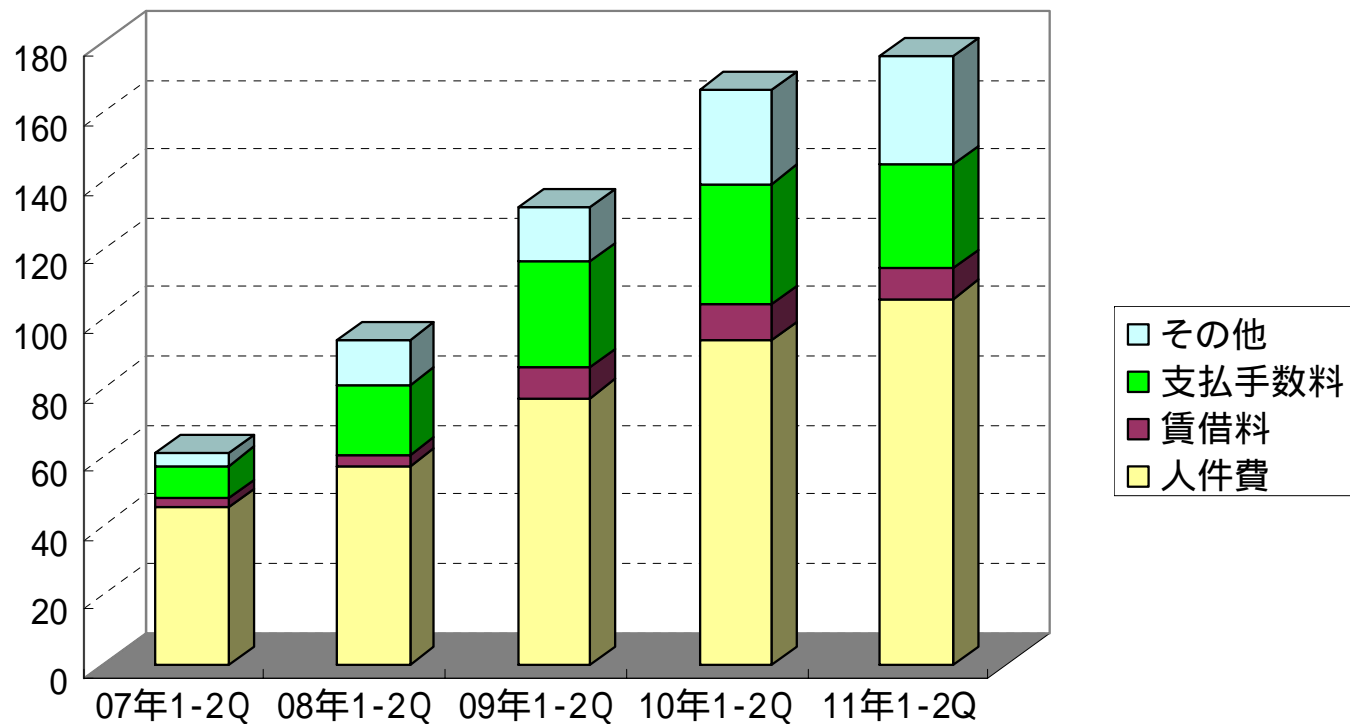
単位:百万円

	07年1-2Q	08年1-2Q	09年1-2Q	10年1-2Q	11年1-2Q
売上原価	169	180	267	357	404
販売管理費	64	97	136	166	176



販売管理費実績推移(百万円)

	07年1-2Q	08年1-2Q	09年1-2Q	10年1-2Q	11年1-2Q
人件費	43	59	81	98	112
賃借料	3	4	9	10	9
支払手数料	10	22	33	35	30
その他	8	12	13	23	25
合計	64	97	136	166	176



3.11 貸借対照表の概要

単位:千円

	2010年12月期		2011年12月期第2四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
流動資産	4,837,431	97.3%	5,309,019	97.9%	9.7%
固定資産	132,097	2.7%	113,398	2.1%	-14.2%
資産合計	4,969,528	100.0%	5,422,417	100.0%	9.1%
流動負債	3,436,300	69.1%	3,880,759	71.6%	12.9%
固定負債	0	0.0%	3,998	0.1%	0.0%
負債合計	3,436,300	69.1%	3,884,757	71.6%	13.1%
純資産合計	1,533,228	30.9%	1,537,659	28.4%	0.3%
負債純資産合計	4,969,528	100.0%	5,422,417	100.0%	9.1%

単位:千円

	2010年第2四半期	2011年第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,150	281,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,281,862	15,348
フリーキャッシュ・フロー	2,221,712	266,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,831	120,770
現金及び現金同等物の増減額	2,115,881	145,717
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,881	3,398,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,407,762	3,252,533

(マイナス要因)
 買取債権の増加505,057千円
 預り金の減少124,859千円
 (プラス要因)
 未払金の増加356,847千円

(マイナス要因)
 配当金 46,509千円
 自己株式取得 48,720千円
 (プラス要因)
 短期借入金増加 216,000千円

4 2011年12月期計画

11年12月期の業績見込みは据え置き

通期売上高1,386百万円、純利益207百万円

施策

- ✓ 従来からの基幹ビジネス(クイック入金、収納代行)に加え、支払代行サービスの強化を図る。
(新スキームの導入準備)
- ✓ Pay-easy 通信共同利用センターの自営化準備 (2012年1月スタート予定)

新事業分野

・日中間の販売、決済プラットフォームの構築

本邦の中堅中小企業の中国マーケットへの展開支援(物流、通関、決済、技術開発、等)

・事業ドメインの拡大

請求書印刷、郵便局への持込み、収納代行、入金消し込み等の機能の一元管理

単位:千円

	2010年12月期		2011年12月期		
	実績	構成比	第2四半期実績	通期計画	進捗率
売上高	1,248,770	100.0%	682,938	1,386,937	49.2%
売上総利益	527,237	42.2%	279,027	579,061	48.2%
営業利益	195,558	15.7%	103,393	232,566	44.5%
経常利益	194,004	15.5%	100,429	218,072	46.1%
当期純利益	174,907	14.0%	96,724	207,503	46.6%

POINTS

- ・ 送金系業務の強化により、既存の収納業務との相乗効果を狙う。
同時に、ファイナンス先の支払代行業務獲得を図る。

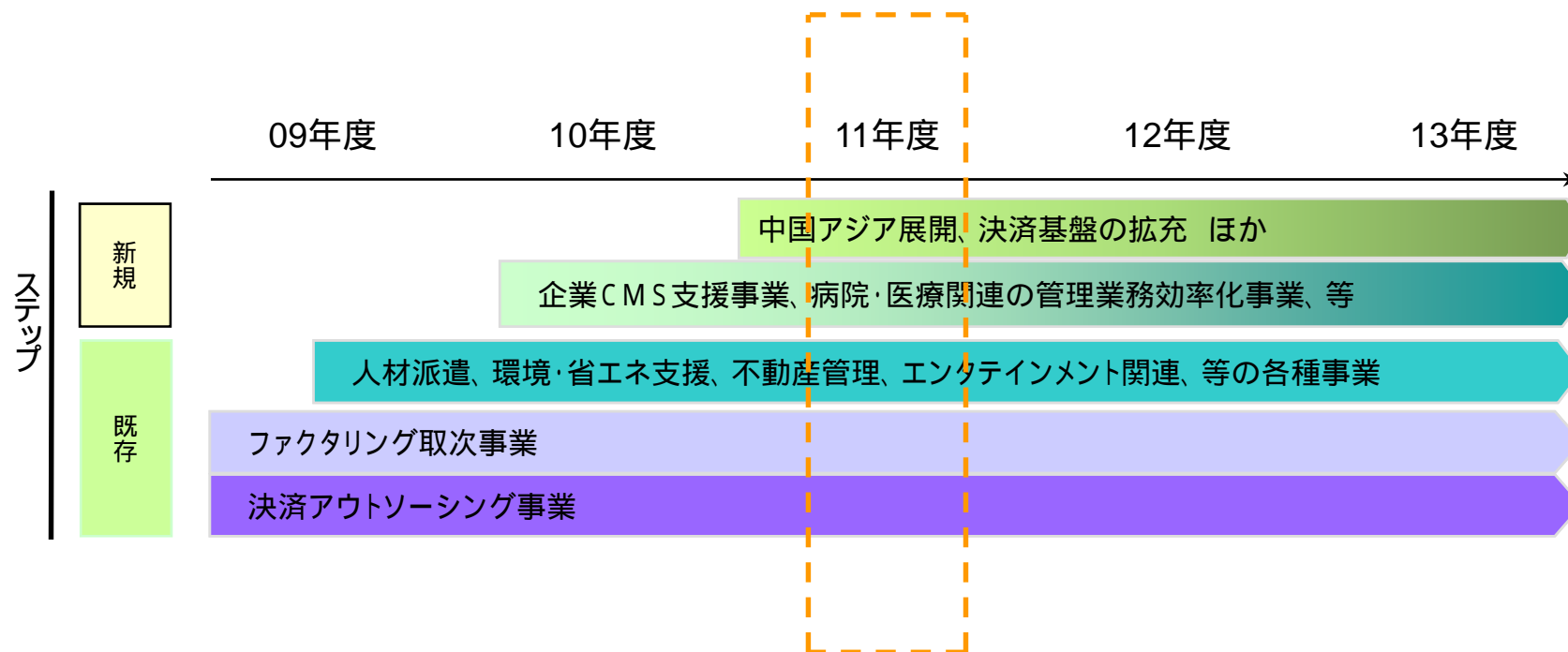
5 今後の成長戦略

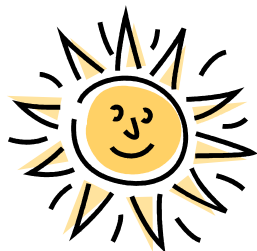
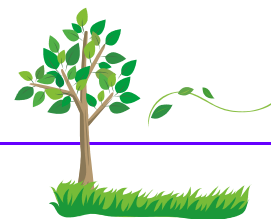
5.1 新規ビジネスの計画と状況

- 順次実績化を計画している新規ビジネスの状況

事業計画	サービス対象	概要	実施状況
従来からの 計画案件	不動産管理	決済プラットフォームと管理APの提供・資金繰り支援	サービス提供中
	漁協・農協・市場	地方の漁協・市場とスーパーマーケット・飲食店を結んだ直販チャンネルでの決済プラットフォームと資金繰り支援機能の提供、地産地消の推進	サービス提供中
	病院	中小病院向けにeカルテと決済プラットフォーム、窓口会計効率化の複合サービス提供	サービス提供準備中
	訪問介護	訪問介護・訪問医療における決済プラットフォームと資金繰り支援機能の提供	サービス提供準備中
	イントラネット	シンクライアントを利用したクローズ環境での決済プラットフォームのサービス展開	取止め
2010年度 推進案件	企業CMS支援	企業グループのグループCMS推進コンサルティング、並びにCMS運営支援の獲得を推進	準備中
	中国・アジア展開	決済基盤を中心としたデータ管理による中国ビジネスの展開支援	サービス提供準備中
	決済プラットフォーム	現金決済以外の決済機能の充実によるマルチ決済ハブ機能の研究・構築	サービス提供準備中
2011年度 推進案件	総合情報支援	中国への企業展開支援に必要となる情報管理機能の構築と業務フローへの展開	準備中
	中国への展開支援	企業進出、産学連携を支援する共同研究支援基盤の企画研究・構築	準備中
	決済プラットフォーム	海外展開を支援する為のマルチ通貨決済ハブ機能の企画研究・構築	準備中

- 新規事業の立上げにあたっては、基盤機能の確実な組み込みを図り、決済およびファイナンス取次件数の増大を目指す。
- BPO業務に関連する投資はパートナー企業との共同出資等により投資額を一定範囲に抑制し、自走式のビジネスモデルをより強固なものとする





【第3戦略】 総合決済情報産業の創造
決済業務・与信業務支援ビジネスの拡大と
この情報に基づく企業情報ビジネスの展開

- ・ 決済業務とキャッシュフローの総合支援BPOビジネスの展開
- ・ 中国・東南アジアへの決済業務支援ビジネス展開
- ・ 商流・物流・金流情報の総合管理による企業情報ビジネスの展開
- ・ 資金ネットワーキングし、為替と連動するグローバルサービスの展開

【第2戦略】 与信業務支援市場への展開
回収・支払情報に基づく資金繰支援機能展開

- ・ 与信取次ソリューションの決済情報プラットフォームへの組込
- ・ ファクタリングビジネスの展開・拡大
- ・ 電子手形マーケットにおける金融会社対応のトップシェア獲得

【第1戦略】 決済業務支援市場の確立
現金決済業務でのデファクトインフラ構築

- ・ 現金決済マーケットでの業界共通ソリューションの開発・提供
- ・ 決済情報プラットフォームの構築とASPサービスの提供
- ・ 大手事業者との業務提携

創業：一つの芽

08年上場

現在

豊かな森

ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
ビルングシステム株式会社 電話03-5501-4400
toiawase@e.billingjapan.co.jp